

## 2 章 連立方程式 1 節 連立方程式 (1 回目)

## ◇課題◇ 連立方程式についての理解を深めよう。

## Step1

教科書 P34、P35 の数当てを考えてみよう。

① 条件を箇条書きにして書き出してみよう。

・ ㊦の袋には2個、㊧の袋には1個碁石を入れる ・ 21個の碁石 ・ 「はい」を13回

② ㊦の袋、㊧の袋にはそれぞれ何個の碁石があるか、考えをノートに書こう。

③ 答えは、㊦の袋には16個、㊧の袋には5個です。

## Step2

教科書 P36、37 を読んで考えてみよう。

① 教科書 P36 のどうなるかなを読み、Step 1 の関係を等式で表す。

② 教科書 P36 の 10、11 行目「二元一次方程式」P36 の 16 行目、17 行目の「解」について、箇条書きで書き出し、説明をまとめる。

③ ワーク P28 ①(1)(2)を解く。答え合わせをして、理解度を確認する。誤答は消さない、解説をよく読む。

④ ワーク①(1)(2)の表から、二元一次方程式両方を成り立たせる $x, y$ に印をつける。

⑤ 教科書 P37 6 行目から 13 行目「連立方程式」「連立方程式の解」「連立方程式を解く」について、説明をまとめる。

## Step3

連立方程式の解について考えてみよう。

① 教科書 P37 14 行目から 22 行目までを読んで、理解する。

② ワーク P28 ②の問題を解く。

③ ②の答え合わせをして、理解度を確認する。誤答は消さない、解説をよく読む。

## Step4

今回のまとめをする。

① ノートにまとめをかく。空欄に適切なものをあてはめて完成させる。

&lt;まとめ&gt;

2つの文字をふくむ一次方程式を□□といい、2つの方程式を組にしたものを□□という。

② この学習を通して自分が得たこと・感じたこと(マークを☆とする)等をノートに書きだす。また、わからなかったことも書き加えておく。

※練習に使える「e-ライブラリ」: しっかり学習→ドリル→中2数学→連立方程式→二元一次方程式→連立方程式とその解

## 2 章 連立方程式

## 2 節 連立方程式 (3 回目)

## ◇課題◇ 連立方程式を効率よく解決する方法を知ろう。

## Step1

教科書 P38 「どうなるかな」を使って解決方法を知ろう。

- ① 教科書 P38 「どうなるかな」を読む。
- ② 問題文から次の□にあてはまる数を考えよう。下のわく内はノートに書くこと。

鉛筆 1 本の代金、ノート 1 冊の代金は  円以上  円未満になる

- ③ ノートに P38 の 13・14 行目に書いてある連立方程式をうつす。  
また、その式に右側に、それぞれの式がどんな意味をもつのか「ことばで」かく。
- ④  $3x + y = 250$  と  $x + y = 150$  の 2 つの式から新たなことがわかります。  
P38 の 15~20 行目を読み、2 つの式のちがい (差) に注目することで  $x$  の値がわかることを知ろう。

## Step2

連立方程式を解くための考え方をまとめよう。

- ① ノートに P38 の 23・24 行目 (うす緑で囲まれているところ) を読んで、ノートに書きうつす。  
また、P39 の 1~6 行目を読み、連立方程式の解の表し方がいくつかあることを理解する。

## Step3

試しに連立方程式を解いてみよう。

- ① ワーク P29 の  の問題をノートに解く。
- ② ①の答え合わせをして、理解度を確認する。誤答は消さない、解説をよく読む。  
わからない場合は、解答をそのまま写しておこう。

## Step4

今回のまとめをする。

- ① ノートにまとめをかく。

<まとめ> 2 つの等式から新たな情報を導くことで、連立方程式を解決することができる。

- ② この学習を通して自分が得たこと・感じたこと (マークを☆とする) 等をノートに書きだす。また、わからなかったことも書き加えておく。

※練習に使える「e-ライブラリ」: しっかり学習→ドリル→中 2 数学

→連立方程式 連立方程式→加減法(1)